

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度：令和6年度)

施設の名称	名取市震災復興伝承館
指定管理者の名称	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋
施設所管部課(室)	生活経済部商工観光課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
令和2年4月1日～	指定管理者	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	一般社団法人名取市観光物産協会 会長 佐々木 洋
	所在地	名取市杜せきのした5-3-1 イオンモール名取1階ナトリサン
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年0ヶ月)	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市震災復興伝承館
所在地	名取市閑上東1-1-1
設置年月	令和2年4月1日
根拠条例等	名取市震災復興伝承館条例
設置目的	東日本大震災の記憶及び教訓を後世に伝承し、当該震災を風化させることなく、防災意識を醸成するとともに、市民、復興支援者及び来訪者の交流を促進するため。
施設の内容	震災伝承施設
開館時間	4月～11月：午前9時30分～午後4時30分 12月～3月：午前10時～午後4時
休館日	毎週火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)
指定管理者が行う管理運営業務	施設の使用の許可、維持・管理、その他市長が必要と認める業務
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	
開館日数	308日	309日	308日	99.7%
延べ利用者数	41,672人	45,123人	48,498人	92.4%
利用者数 (人/日)	135.3人/日	146.0人/日	157.5人/日	92.7%
主な増減原因	新型コロナウイルス感染症が落ち着き来館者が増えると思込んでいたが、市内県内からの来館者が思うほど伸びずまた、一般の団体受入数は若干増えたが団体の中の人数が少なく中学校、高校の修学旅行の団体受入が昨年より少なくなっている。団体以外来館者は県外からの来館者は家族づれが多くなっている。発災から14年がたち震災を経験していない中学生以下の児童への伝承館としての伝承方法が課題となって来ていると思われる。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	
指定管理料	8,600	8,600	8,300	100.0%
利用料金収入				
その他	130	122	111	106.6%
収入計 (ア)	8,730	8,722	8,411	100.1%

(2) 支出

人件費	4,616	4,087	3,523	112.9%
施設管理費	2,242	2,146	3,740	104.5%
事業運営費	481	636	808	75.6%
その他	85	38	35	223.7%
支出計 (イ)	7,424	6,907	8,106	107.5%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア)				
－ (イ)	1,306	1,815	305	72.0%
前期繰越収支差額	4,078	2,263	1,958	180.2%
次期繰越収支差額	5,384	4,078	2,263	132.0%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

〈サービス向上の取り組み〉

- ・旅行会社や来館者からの問い合わせには、丁寧な対応を心掛けている。
- ・来館者からパネルやジオラマ等の説明、質問を求められた時の対応を行っている。
- ・来館予定の団体で語り部等の説明が無いような時は、担当職員が勤務の時は館内で短時間での説明を行うような対応を行っている。
- ・来館者へ周辺施設や観光案内や観光情報を発信するため、各種パンフレットやイラストマップを配布を行い、また連携する震災伝承施設や旅行会社からの問い合わせに応じ、当館の施設案内(リーフレット)の発送を行った。
- ・来館者へ施設利用に関するアンケート調査を行い、サービスの向上と改善に努めた。
- ・市内の伝承団体や防災減災団体とのヒアリングを行い意見等を頂戴した。

〈利用者数増加のための取り組み〉

- ・個人で来館された方々にも「語り部」の話を聞けるように名取市で制作した『名取市東日本大震災「語り部」の記録映像～震災を語り継ぐ人々～』をシアタールーム2で放映した。
- ・東日本大震災前の関上地区の街並みを撮影したパネルにナンバーを付けて掲示して、ジオラマにナンバーを表示して訪れた来館者にも展示している写真の撮影場所が分かるように工夫して展示した。
- ・名取市生涯学習推進本部と連携し「なとりまなびパスポート(まなびの記録)」の対象施設になり館内を見学した来館者へのスタンプ押印と名取市震災復興伝承館のオリジナルスタンプを引き続き設置した。
- ・名取市生活経済部商工観光課主催の「宝探しIN名取・仙台沿岸部」のイベントの館内への問題出題パネルの設置と抽選応募用紙受付・回答確認の対応を行う。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

・震災前の関上地区のジオラマに対しての要望(表記されている名前が違う、追加など)には、引き続き可能な限りの対応を行っている。

・震災前に関上地区に住んで居た住民の方から住んで居た場所がどの辺になるかの問い合わせに名取市建設部都市開発課北釜整備推進係より提供していただいた地図を活用して説明を行っている。

・来館者より震災前と震災後の同じ位置の航空写真の展示要望があったので名取市生活経済部商工観光課と相談したところ震災後に関上地区・下増田(北釜地区・空港周辺)の航空写真が寄贈されていたので、伝承館で展示を行って来館者に震災前と後の街等の変化をご覧いただいている。

・来館者の方から東日本大震災の被害状況や復興にまつわる詳細な情報等を求められた際の対応として、職員が出来るだけの柔軟に対応出来るよう、市職員と連携して資料や情報などを取得し対応できるように取り組んだ。

・ここ数年、大学の卒論や研究の為に関上の復興や当時の問題などの問い合わせが若干多くなってきており職員で答えられる範囲は対応し、その他の事は名取市建設部都市開発課や名取市企画部政策企画課、名取市総務部防災安全課をお願いして対応を行っていただいている。

・防災ステーション駐車場、堤防等に散歩や釣り客などのタバコのポイ捨てやゴミ等が多く見受けられるので名取市生活経済部クリーン対策課より看板を提供していただいで掲示し、職員による週一回程度のゴミ拾いを行っている。

・来館者の方からジオラマに津波の高さが分かる工夫をしてはどうかとのご意見をいただいたのでミニ表示版を作成して名取市で掲載している津波の高さを記載して分かるように工夫しました。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

・掲示物、展示物が多くなり今後の展示等を考えなければならない時期に来ている。

・今後、伝承館の来館者が減少すると思われるのでどのような対応が必要か行政を交えて考えていかないといけない。

・今後の伝承館をどのように活用し、東日本大震災での名取市の被害状況、今後起こるかもしれない災害に対しての防災減災を考える場になるような施設の活用。

・震災から14年が過ぎ、中学生2年生は震災を経験していない年代になって来ているので震災時の写真や動画を積極的に活用して東日本大震災を伝えて行く時期に来ていると思われる。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
	2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○
業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。			○	○
自主事業の 実施		施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
利用者の満足 度向上		利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
利用者の苦情、 要望等の把握		利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
利用状況等		利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	△
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「—」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

<p>1 実施体制に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の清掃及び保守点検を適切に行っており、加えて施設周辺の草刈りやゴミ拾いも定期的に行うなど、景観の保護に努められたことを評価する。 ・今後は職員研修や教育を積極的に実施し、様々な視点から震災を風化させないための仕掛けづくりに取り組める人材の育成に期待する。 <p>2 サービスの内容や水準に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた人員の中でも、来館者より詳細な説明を求められた際は、丁寧に対応し、来館者の満足度向上に寄与した。 ・来館者が年々減少してきた中で、来館者増に向けた自主事業の取り組みが少なかった。 <p>3 経営状況に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り業務を担当職員で行うなど、経費削減に努め、概ね適正な経営がなされていた。 <p>4 総評</p> <p>昨年に比べ来館者数は減少した一方で、団体の数は増加しており、丁寧な対応や自主事業の実施による来館者の満足度向上に努め、全体的に基本協定書や仕様書に基づき適正に運営されていた。次年度は積極的な団体旅行の誘致や自主事業の実施により、来館者数の増加に向けた取組みを期待したい。</p>
--